

ご存じですか！文化財

19

「西浄寺石碑 (青石塔婆群)」

さいじょうじ いしぶみ
あおいしとう ばぐん

市指定記念物
昭和61年12月8日指定



問合せ
大利根教育事務所
(☎0480・72・1323)



所在地 砂原2187 西浄寺内

砂原、西浄寺の山門をくぐり
本堂正面に向かう途中に、西浄
寺石碑があります。秩父を主産
地とする緑泥片岩を多く使用し、
薄くはがれやすく、しかも容
易に加工できることが特徴で、「武
蔵型板碑」ともいわれています。
鎌倉時代から戦国時代にか
けて、埼玉県から東京都、神奈
川県にわたる武蔵国で3万基
以上造立されたと推測されて
いますが、大利根地域の板碑の
数は少なく、わずか20基ほどが
確認されています。

板碑の造立目的は追善や逆修

紹介者 石川 武男さん(道目)



(生前に自分の為に冥福を祈る
法要)の供養のためです。
西浄寺石碑の中で最も古い
ものに弘安元(1278)年の
ものがあり、鎌倉時代中頃のも
のがあります。梵字は釈迦如来
をあらわしますが、大利根地域
ではこの1基のみであり、とて
も貴重なものです。